

162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3
Tel 03-3203-4581, Fax 03-3203-4582,
郵便振替口座：00130-1-11325, みずほ銀行早稲田支店普通預金 1150684

JP-162-0042 Tokyo-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
rete: esperanto@jei.or.jp TTT: [http:// www.jei.or.jp](http://www.jei.or.jp)
uea-konto:jeia-b

広報委員会 2016.03.09

シリーズ「エスペラントの今」 No.5

エスペラントの現状を様々な面からご紹介するシリーズの第 5 回目をお届けします。ご質問、取材問い合わせ等は、当協会広報委員会までお願いします。



◆国際エスペラント相撲 3 月場所、間もなく開始◆

大相撲の世界はすでに国際化され、外国出身の力士が活躍しています。国際語エスペラントの相撲とは何でしょうか。それは、家に居ながらにして世界につながり、学力の向上にもなるエスペラント**読書相撲**です。日本の大相撲興業と同じく、年に 6 場所、合計 90 日間行うイベントで、戦う相手は自分。参加者は、どの本を場所中の毎日何ページ読むかを興行主に申告し、その日の分のページ数を読むことができたなら○、読めなければ●を申告すると、興行主が星取表に記入。つまり、闘う相手は自分ということで、全勝すれば横綱を名乗ることができます。

このユニークな取り組みを始めたのは、群馬県前橋市の堀泰雄さん（74 歳）。堀さんが思ったのは、エスペラントの本がたくさん出版されているのに、あまり読まれていないのはもったいないということ。読書がエスペラントの実力アップに役立つこと。読書人口を増やすことがエスペラント運動にも寄与することなどから、2009 年 9 月場所に合わせて、呼びかけに応えた日本人エスペラント語話者 18 人で始めました。そして、2010 年 3 月場所からは、外国のエスペラント語話者にも参加を呼びかけて、国際場所になりました。2011 年 3 月場所だけは東日本大震災のために開催されませんでした。この 3 月場所ですべて 39 場所目になります。

この間、外国人力士（参加者）の数も出身国も順調に増えてきて、2016 年 1 月場所には 29 か国から 277 人が参加しました。参加者の多い国の上位は、長らく日本、フランス、ポーランド、ベトナムで占めてきましたが、最近の 2 場所では韓国が台頭してきています。2017 年にソウルで世界エスペラント大会を開催するのを前に、実力向上を目指して取り組んでいるのです。

運営は国際チームが担っています。力士の成績管理をするのは堀さん以外に、ネパール、ポーランド、トルコ、フランス、セルビア、ベトナム、イタリアの 8 人。ホームページと賞状の管理をするのはポーランド人です。ホームページには、参加者の申告した本のタイトルや星取表が掲載され、同じ本を他の国のだれかも読んでいるのを知れば、共感もわき、交流の場にもなっています。平均して一場所 15 日間で、一人が 70 ページ読んでいますから、これまでの参加者の延べ人数が 4,480 人で、読んだ総ページ数は 313,600 ページにもなります。単に本を読むだけの行為ではなく、自分との闘いという意義を実感し、エスペラント読書相撲を広める取り組みをする外国人も増えてきました。勝敗を毎日報告し、お互いを励まし合うこのようなイベントは、インターネット時代のエスペラント活動の好例です。